

TJCAS 2019 の発表成果報告書

感想文

令和元年 08 月 31 日

学生： チャンミンチー

学籍番号： T182D002

出席会議名称：2019 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems (TJCAS 2019 at Nikko)

会議期間：令和元年 08 月 19 日から 08 月 21 日

ポスター題名：

- Voltage Overshoot Reduction with Parallel RLC Network for Inductor Type Buck Converter in Mobile Applications
- Minimum Gain Ripple Technique for Pass-Band of 4-Stage Passive RC Polyphase Filter in Low-IF Receivers

この学会は栃木市、日本で開催されました。学会名にある通り、回路設計や信号処理や通信システム分野の研究成果を発表し合い、研究をより有意義なものとするのが目的です。

私は 08 月 20 日と 21 日、1B Oscillators / Switching Converters と 4B DAC / Filter / Design & Manufacturing Methods というセッションで発表しました。長時間でのポスター発表が初めて、緊張しました。英語での質疑応答は大変でした。英語能力を高めていきたいと感じました。基調講演や他大学の方の発表を聞くことができ、専門分野についての理解を深めるとともに、他分野への視野を広げました。

留学生にとって、この国際の学会発表経験は一生の宝です。この会議に参加できたおかげで、一流の研究者との交流ができ、最先端情報が得られました。半導体回路設計技術の知識が必要だと思います。今後、自分の専門分野の知識を学んで、理解を深めるとともに、英語と日本語能力を高めていきたいです。

国際会議に参加させていただき、どうもありがとうございました。この国際会議で得られた知識は本当に役立ちました。



8月19日から8月21日の二泊三日で、日光学会発表に行きました。

昼間には、研究者たちの親睦を深めるためにゲームもしたり、折り紙を行ったりしました。



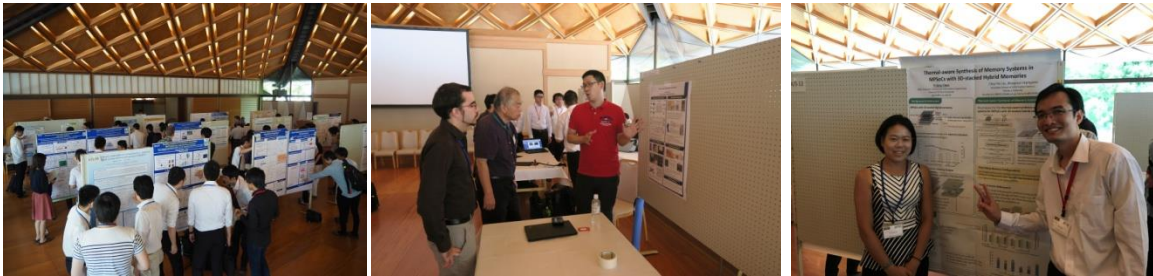
夜には、実際お互い話す機会ができて良かったし、知らなかったお互いの姿も知れて嬉しかったです。それでこういう機会がまたあればいいなと思いました。

夕食は日本の伝統な食べ物を体験できるホテルで行われました。



食べ物としては、日光ではアイスが有名なので、それも食べてみました。

ポスターを発表する時、一流の研究者との交流が出来ました。



賞をもらっている研究者。おめでとうございます。



日光は世界文化遺産でも有名ですが、日本のロマンチック街道の方でもかなり有名だと聞きました。そのロマンチック街道を旅館で体験できて良かったと思いました。



来年の TJCAS2020 メッセージをありがとうございます。これから、より一層頑張りたいと思います。